

映画「伸びゆく川西」について

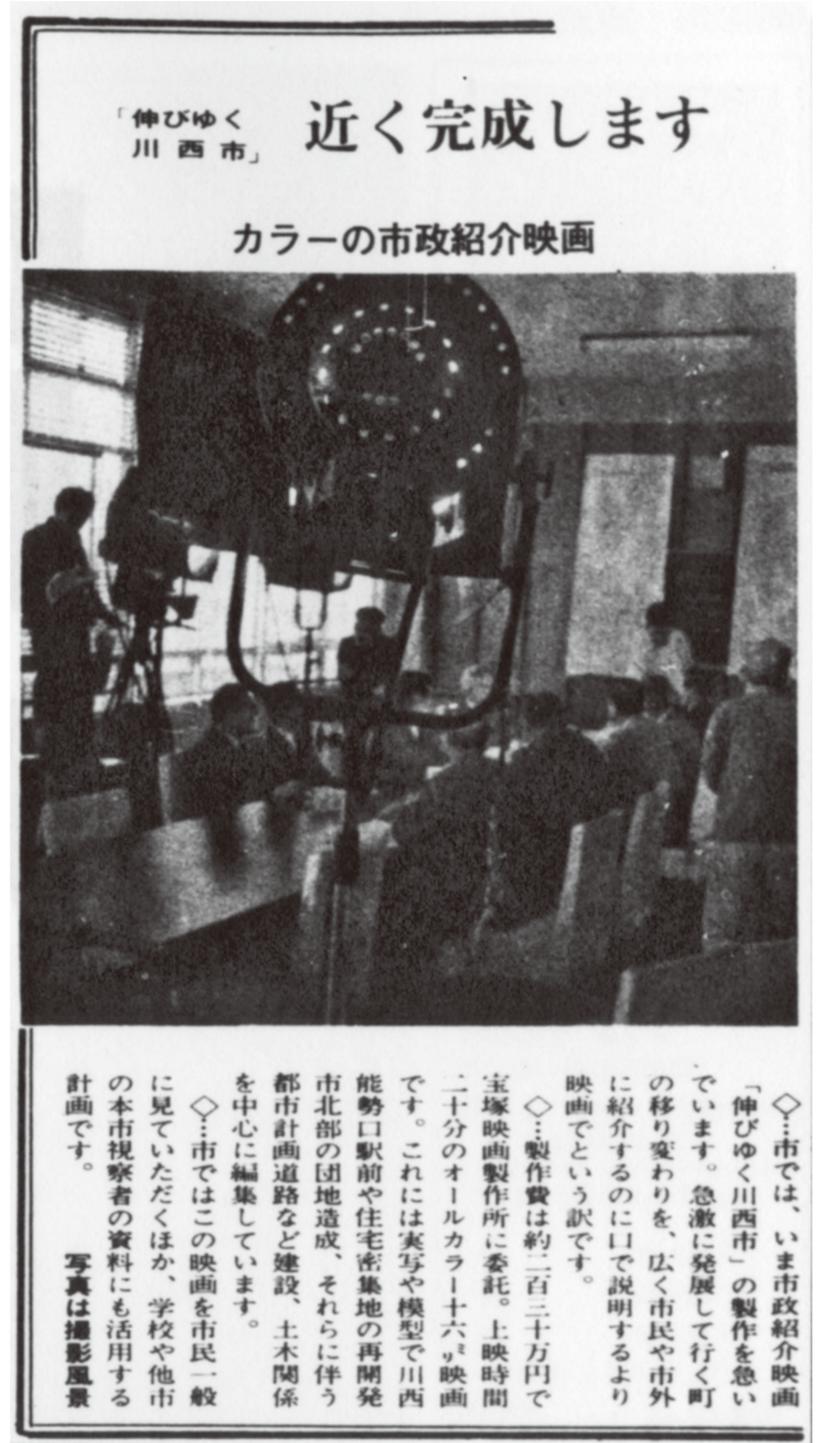
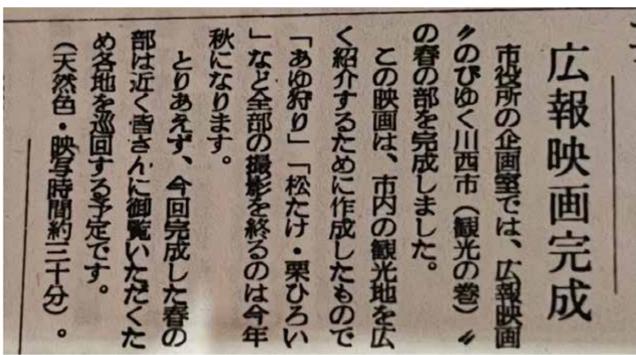
昭和 43（1968）年、川西市は市政の様子を紹介する 16 ミリ映画「伸びゆく川西」を製作しました。上映時間約 20 分間のカラー映画で、当時の農村部の風景や新たに山を切り開いて開発されるニュータウンの工事現場などが映されています。また、この後にビッグプロジェクトとなった川西能勢口駅周辺の再開発事業の整備案も盛り込まれ、完成した姿と同じところや違っていているところなど、興味深い映像となっています。

この映画は完成後、市内外で上映されたと思われませんが、その後長い間忘れられていました。近年、市役所の倉庫から見つかりましたが、フィルムの特長で画面の退色が進んでおり、復元が望まれます。

また、この映画の 10 年前の昭和 33（1958）年にも、同名の映画「のびゆく川西市（観光の巻）」が制作されたことが当時の広報紙に書かれています。このフィルムは現在行方不明です。ご存知の方は、ぜひお知らせください。

「広報かわにし」昭和 43（1968）年 12 月 5 日付▶

▼「広報かわにし」昭和 33（1958）年 3 月 5 日付



和田さんご一家を探しています

昭和 34（1959）年 10 月、川西市栄根に住んでいた家族 4 人がブラジルに向けて神戸港を出港しました。目指したのはリオデジャネイロです。和田さんは失業を機に新天地ブラジルで新たな生活を始めることとし、ご家族と一緒に希望を胸にふるさと川西を後にしました。

移住から 65 年が経過しました。お二人の娘さんはお元気に過ごされていると思います。お二人が今の川西の様子をご覧になられたらどうお感じになられるでしょうか。また、ご一家がどの様にブラジルで過ごされたのでしょうか。昭和 30 年代の川西はどの様な街だったのか…などなど、お伺いしたいことがたくさんあります。

広報紙の記事を目にした私たちは日伯協会（神戸市）やブラジル兵庫県人会（ブラジル）に問い合わせましたが、ご一家の出国や入国の記録はあるがその後の情報はなかったことでした。また、県人会にもご存知の方はおられませんでした。

和田さん一家のことをご存知の方がおられましたら、ぜひ、お知らせください。

和田さん一家

希望をひめて南米へ

栄根字垣内田一の一和田勉さん（32才）一家四人は十月二日午後四時神戸出港のOSKぶらじる丸で南米へ移住の途につきました。移住した四人は、和田勉さんをはじめ、妻順子さん（25）長女多美子さん（6）二女佳子さん（3）で、九月二十四日神戸移住あつせん所に入所の後、準備をすませ、十月二日希望に胸をふくらませて神戸を出港しました。

サントスには十一月中到着の予定で、リオデ・ジャネイロでは果物や野菜を栽培する仕事に従事することになっています。

和田さんは去年秋まで、大阪府東淀川区十三の鶴魚温水器に勤めていましたが、内部の一部解散で失業したのが動機となり、リオデ・

「市役所の雇員でいろいろの手続などを教えてもらって、いよいよ南米へ移住することになりました。移住先には広い土地が待つています。大いに頑張つて成功したいと考えています」と語る和田さんの顔は明るく、希望にあふれていました。皆さんと共に、その前途を祝福したいと思います。

写真：出発の前に和田さん一家



「広報かわにし」昭和 34（1959）年 10 月 5 日付